

2 . 潮流調査

〈目的〉

有明海の流動現象の実態把握

〈調査期間〉

平成17年2月17日~3月5日

平成17年2月23日

〈調査地点〉

15昼夜連続観測・・・9地点

12時間連続一斉観測・・・25地点

〈調査項目〉

流向、流速

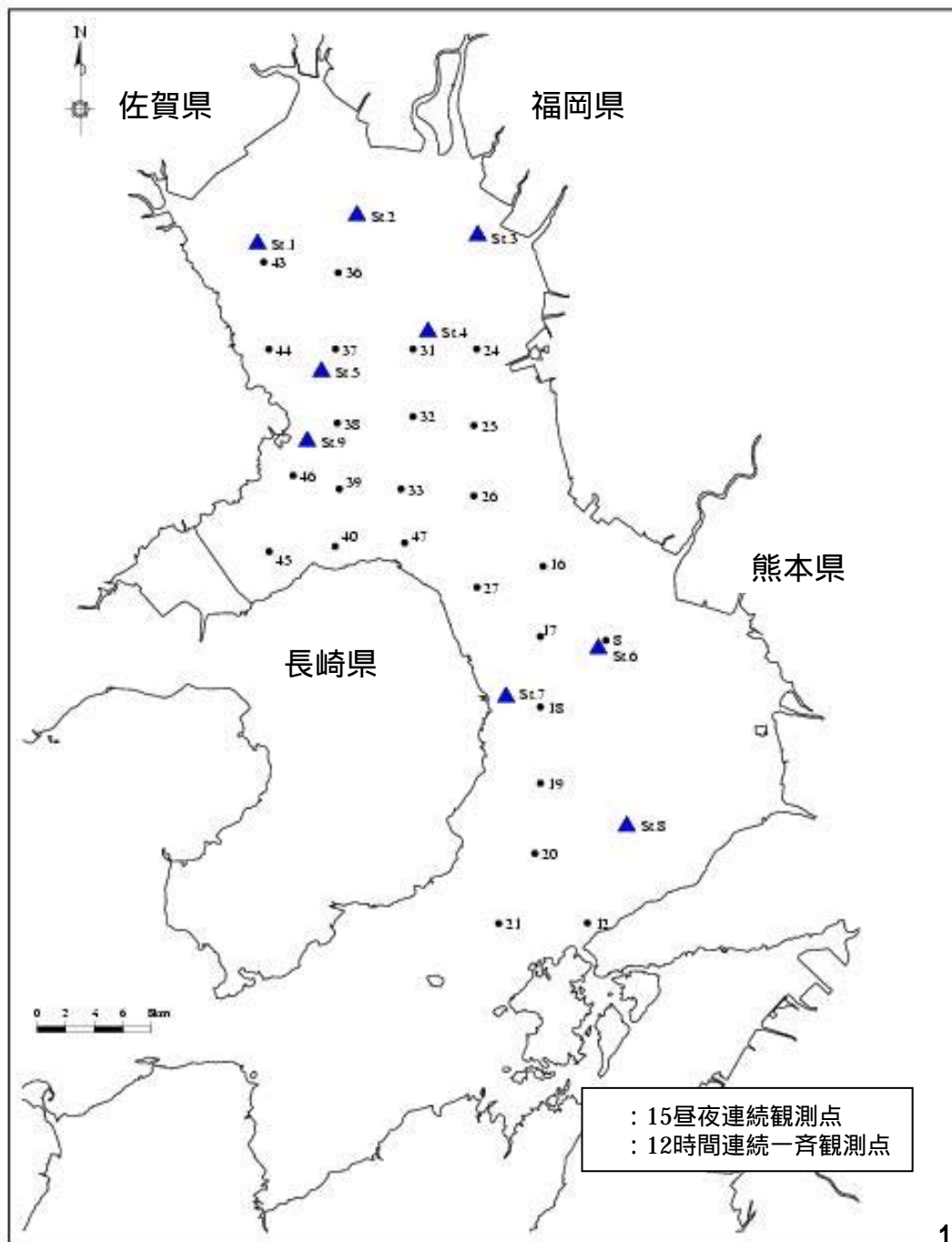
〈調査頻度〉

15昼夜連続観測

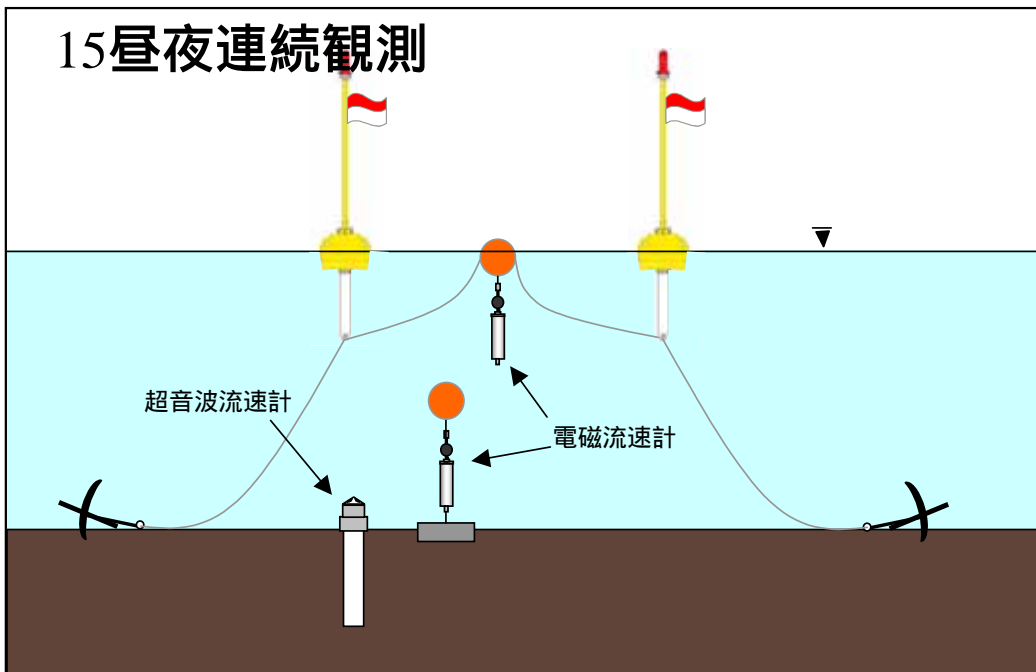
10分間毎

12時間連続一斉観測

1時間毎



15昼夜連続観測



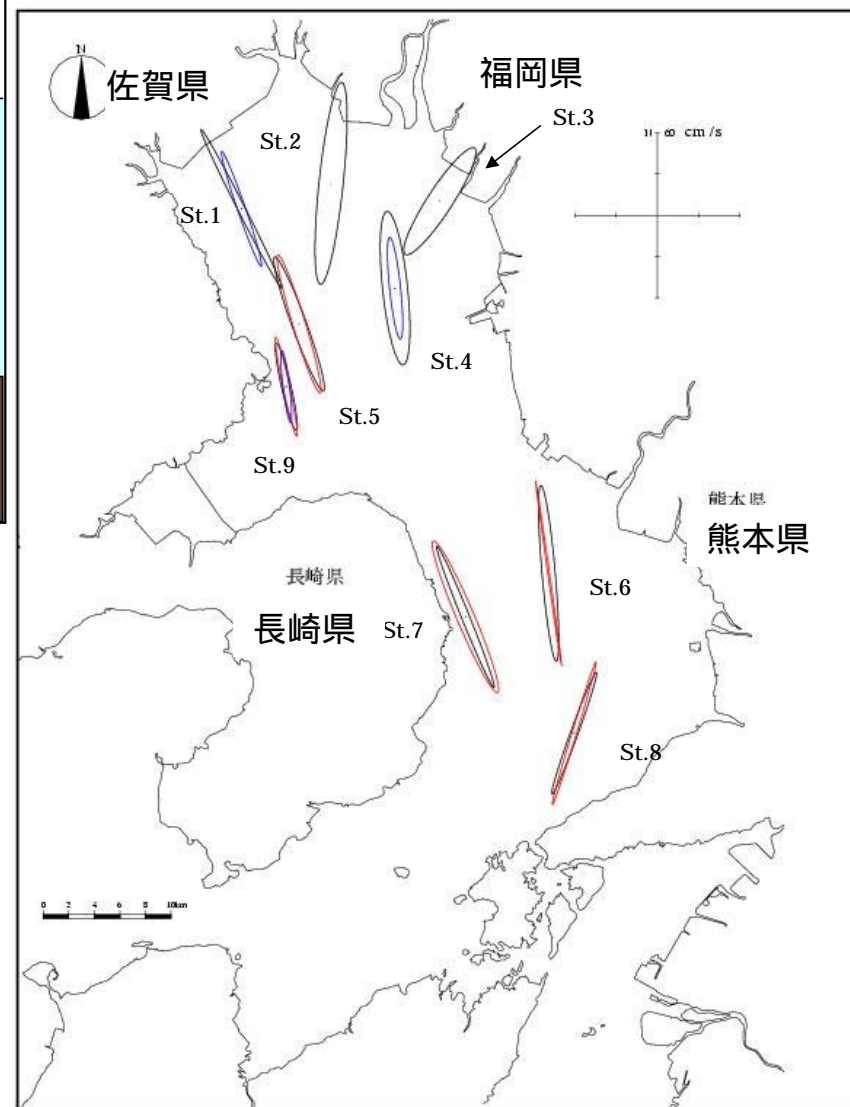
	計測水深			使用機器
St.1	海面下1.5m		海底上1m	電磁流速計
St.2	海面下1.5m			電磁流速計
St.3	海面下1.5m			超音波流速分布
St.4	海面下1.5m		海底上1m	超音波流速分布
St.5	海面下1.5m	½水深		電磁流速計
St.6	海面下1.5m	½水深		電磁流速計
St.7	海面下1.5m	½水深		電磁流速計
St.8	海面下1.5m	½水深		電磁流速計
St.9	海面下1.5m	½水深	海底上1m	超音波流速分布

注1: St.2は潮流が早く、潜水作業が危険なため、下層は設置なし。

注2: St.3は水深が浅いため海底上1mのみ設置とし、そのデータは上層として扱う。

< M2 + S2分潮流の分布 >

黒線：上層、赤線：中層、青線：下層



12時間連続一斉観測



< 流速ベクトルの水平分布 >

